

あきる野民報

発行責任者/松平重幸 TEL&FAX 558-0718

住民の利益をまもり、
「住民こそ主人公」の
あきる野市政実現をめざして!

2008.10.26 No.497 (毎月2回発行)

日本共産党あきる野市委員会は次の見解を発表しました。

輝き増す日本共産党の値打ち

鈴木おさむ予定候補が連日大奮闘!



早朝、秋川駅で通勤者に訴える鈴木おさむ予定候補

街頭、集会、休みなく 党の政策訴える

解散近しと日本共産党は、自公政治に終止符を打つために政策を話し、日本共産党への支持を訴えています。

西多摩選挙区の二五区は、民主党が立候補を見送る状況なので事実上自共対決の選挙になる模様です。

日本共産党の鈴木おさむ予定候補は連日、駅頭、街頭、集会で党の政策を分かりやすく話し共感が広まっています。西多摩は自治体が八つもあり東京の中で一番広

い選挙区です。駅も数多くあります。

鈴木おさむ予定候補は主要な駅に毎日朝から立ち、通勤する人達に、自公の悪政で国民が苦しむ「政治を変えて欲しい」と願っている。西多摩を駆け巡って実感している思いを語り、政治の中身を

変える日本共産党の政策を訴えています。地域の党と後援会の人々も一緒に駅頭に立ち、ビラ、パンフの配布を行い、今までと違う通勤者の反応を感じています。

初めに、鈴木氏を招いて、後援会主催の「政策学習会」を行いました。当日は、会場いっぱい二十三人を超え顔が並びました。選挙の争点や、民主党との違いを真剣に訴える鈴木氏の話、みんなも熱心に耳を傾けていました。話し合いの結果出来ることから何でもやろうと決意を固めました。

東青梅の後援会の集まりは、看護学校の方、ケアマネージャーの方など多彩な顔ぶれでした。鈴木候補の話の後、白熱した議論が盛り上がり、共産党の値打ちが益々光っていることを確認し、総選挙に向けた奮闘を誓い合いました。

朝四時過ぎに「赤旗」配達に。まだ暗い。見上げれば、大きなオリオン座。これから星座がよく見える季節だ。子供の頃よく歌った「冬の星座」(ヘイス作曲、堀内敬三日本語詞)が唇に浮かぶ。▼「木枯らし絶えて 冴(さ)ゆる空より 地上に降りし 奇(くす)しき光よ…」歌っている心の中まで透き通る感じで好きな歌だ。だが最近「冴ゆる空」とはいかず、多くの星はかすんでい。生活上最小の明かりは必要だが、いつまでも「夜空を見上げたくなる町」であってほしい。▼四九三億円もかけて自衛隊航空総司令部が移駐する横田基地。米軍と自衛隊の一本化など基地強化だ。さらに「無人のグランドに照明こうこう」というニュース。電気代は思いやり予算で日本負担。腹が立つが「光害」の点からも許せない。結成された「横田基地の撤去を求める西多摩の会」の活躍を期待したい。(湘)

西多摩地域の集 会で反響相次ぐ 日の出町では

日の出町では

質問がでました。質問に答えて鈴木候補は、「定額減税は一回きりの減税で、それも本当に実施するのかわからでない」と話しました。日本共産党の政策は、消費税の内容を当面、食料品を非課税にして、税率の引き上げを許さないことが大事と、わかりやすく話しました。

鈴木候補はその他の質問にも明快に答え、参加者から「元気が出た」という感想がありました。

東青梅の後援会の集まりは、看護学校の方、ケアマネージャーの方など多彩な顔ぶれでした。鈴木候補の話の後、白熱した議論が盛り上がり、共産党の値打ちが益々光っていることを確認し、総選挙に向けた奮闘を誓い合いました。

ちばらしき
こどもくらし

たばた あずみ

ちいさいこどもが一生懸命になにか飲んでいるところ。プリンなどのカップ片手に、不器用な手つきでスプーンを操って食べているところ。かわいいを超えた、うつくしいほどの光景。しあわせにキュッとする。

毎日ごはんを夢中で食べているのを眺めるだけで嬉しかったはずなのに、ふと気がつけば残さず食べる、こぼすな、片付けると不満ばかりのこのごろ...

いいじゃない、自分なりにおいしくできたんだから。こどもたちもばくばく食べてるんだから。こどもたちが寝静まった夜に、そう考えて自分に苦笑。あしたはもうちょっと気持ちよくごはんにしたいな。(08.10.15)
連絡先は☎550-6674

野良望

後期高齢者医療制度廃止秋川流域連絡会が奮闘!

もう廃止するしかない

わずか一時間で三桁の署名集まる!

希代の悪法たる「後期高齢者医療制度」を何としても廃止に追い込もうと「連絡会」は十月三日「とうきゅうあきる野」前で宣伝・署名活動をおこないました。広い歩道を何台かの自転車で行き交った女子高生に声をかけると、すぐ自転車から降りて次々に署名をして行きま



また通行人に署名を呼びかけると、戻ってきて「保険料を年金から天引きされたら三千円しか残らない」と言いながら署名する人、「今の国会じゃダメだ、政府を変えなきゃ」と言って署名する人など大きな反響を呼びました。私たち「秋川流域連絡会」としては二回目の行動でしたが、全国の署名を集約している中央団体に聞くと、先の国会からの分を合わせると全国では七二〇万筆になるそうです。反響の良さに元気が出て、廃止までたまたかう決意をさらに固めた一日でした。(増田)



「女性のつどい」に32名参加

あきる野日本共産党女性後援会が主催して10月12日、あきる野ルピアで「女性のつどい」を開きました。主催者が、世界同時株安、蟹工船ブーム、汚染輸入米、若者の非正規雇用の拡大などを話し、この悪政を正すために日本共産党への協力を訴えました。山根とみえ市議会議員から市議会報告がされ、続いて市議予定候補のたばたあずみさんが話しました。ファインプラザの民間委託後の問題、るのバス問題、いきいきセンターの存続問題など活発な質疑応答がありました。駆けつけた鈴木おさむ25区予定候補から国政の話がされました。参加者から「身近な問題が聞けて良かった」「共産党頑張って、そうしないともう生きてゆけない、私も協力するから」と感想がありました。

さあ総選挙へ! 五日市の後援会総会開く



(鈴木)

十月四日、元気に二年ぶりの総会が開かれました。鈴木おさむ二十五区予定候補、たばたあずみ市議予定候補のあいさつがあり、総選挙情勢、市議選への意欲が語られました。五味会長が経過報告をし、最近の事では「今、五日市憲法草案が輝く」を鈴木富雄さんが出版好評で、一三〇〇部普及したことを報告。大和田新事務局長が、「国民の怒りがどこでもある情勢だ。今こそ出番だ。楽しい、実益のある、学習のできる後援会活動」と提起しました。

討論のなかで、記念講演のビデオの素晴らしさが語られ、用意されたビデオ、DVDをみんなが持ち帰りました。

解散もてきす不況のせいにする

「改革」のまは早逃げ論議

金融危機先が見えたよ資本主義

大銀行自己責任はどこへやる

松山昇 松山昇 松山昇 松山昇

俳句

波風ぐや録香屋に三味響き (和意)
 心地よき豊年まつり遠囃子 (照代)
 爽やかや友と見せ合ふ方歩計 (つや)
 豊の秋葉金の波の広さかな (やす子)

人去りし社に影る芝蔴紗幸 (勝代)
 彼岸花さかして庭の露かな (静子)
 あれこれと千草に上れて (かほる)
 棚の隅忘れしまの秋扇 (るり子)
 倒れ伏す稲田の稲と如何にせむ (志保)
 夕空へ雀群れ立ち豊の秋 (淑子)
 二仁立つ円空木喰虫しぐれ (秀治)

歴史探訪

第77回

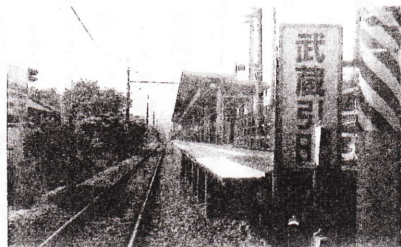
地名考・引田 ①

引田と私が住む草花は旧秋川市の東西の端にあるため、訪れる機会も少なく馴染みのない地域と云えます。以前、真照寺という立派なお寺の紹介文を書くため一度散策した事と、楓ヶ原公園内にある会館の集會に参加した程度です。また車で五日市街道を走りながら、原店という変わった交差点の名が気にかかる事もあります。

引田という大字を、日常私は「ヒキタ」と呼んでいますが、正確には「ヒキダ」であることも、今回初めて知りました。引田は南を八王子、西を五日市、北を日の出町に接していますが、面積は旧秋川市の中で草花・菅生に次いで広い地域です。秋川の南は東京サマーランドが占め五日市線の武蔵引田駅周辺は畑が多く見られますので、商店や住宅地は五日市街道を挟んだ沿道と南側に集中し、面積の約半分と思われま

す。前述の通り「ヒキダ」が正しい呼び方ですが、江戸期の古文書では「ヒキタ」と書かれていますので、ヒキタの呼称の時期もあったという事です。引田村の村立は古いとされています。真照寺の絵馬版木には「引田村」、佐久間文書には「引田」の文字が出ていますので、安土桃山時代の天正年間にはすでに「引田村」が存在していました。(続く)

草花 木崎秀治



武蔵引田駅 (五日市線)